リーダーシップとフォロワーシップ

従来経営の成功のためには、トップのリーダーシップが重要と言われていた。しかし、トップばかりが頑張っても、それを実行する部下がしっかりしないと実現は、おぼつかない。しかし、部下がイエスマンになってしまうと、組織として死んでしまう。現在の経営では、トップのリーダーシップとそれを支える部下のフォロワーシップの両方が注目されている。

さて、経営トップの場合には、リーダーシップだけでよいかもしれないが、中間管理職の立場では、部下に対してリーダーシップで、上司に対してはフォロワーシップで対応する必要がある。ここで、リーダーシップとフォロワーシップの行動特性をまとめてみた。

リーダーシップ(決定権　情報)	広い観点で検討し、方針を定めて、決断し指示する。部下の意見を参考にする。部下には、自分の決断の内容を、前提を含めて説明する。
フォロワーシップ(実行責任　エネルギー)	専門性や現場経験を母体に意見具申し、命令受領時に適切な条件を取引する。リーダーの決断には従い、実現のために全力を尽くすが、前提条件の変化時には、適宜自己判断での対応も行う。

これを立場と決断事項で整理すると以下のようになる。

表１　立場と決断事項

立場	リーダーシップ発揮(決断権限)	フォロワーシップ発揮(実現へ)
経営者	市場の決定、大組織の決定	—
上級管理者	組織配置(人事権)、大規模投資	経営方針の実現
下級管理者	業務遂行計画、自組織の体制構築、経費配分	上級管理者の方針実現
現場リーダー	実務遂行、プロジェクト計画、メンバ選定	業務遂行

表２　フォロワーシップの発揮と責任分担

	市場決定	組織決定(人事配置)	組織構築	業務計画	経費配分	メンバ選定	実行
経営者	主要業務	認許	―	―	―	―	―
上級管理者	意見具申	管理範囲内の人事権	組織間の調整	認許	―	―	―
下級管理者	―	意見具申	自己管理範囲内の決定	年度計画などの責任	配分決定	決定	―
現場リーダー	―	―	―	意見具申	予算内での遂行	選定への要求	責任